

事務事業名 有害鳥獣対策事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：431

施策：	05	農林業の振興	財務コード	01050104-10-00
基本事業：	03	有害鳥獣の駆除	担当部	環境経済部
基本事業の 成果指標	有害鳥獣による農産物の被害額		担当課	農政課
			担当係	農政担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市鳥獣被害防止対策協議会 筑紫野市鳥獣被害対策実施隊 電気柵設置農家			筑紫野市鳥獣被害防止対策協議会が実施する有害鳥獣対策の経費を負担し、鳥獣被害対策実施隊を中心に有害鳥獣の駆除を行う。 筑紫野市鳥獣被害対策実施隊（13名） 筑紫野市鳥獣被害防止対策協議会 平成30年度実績：1,000,000円						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			電気柵設置農家に設置費用の一部を補助する。 平成30年度実績：件数6件 補助金額122,850円						
イノシシ等の有害鳥獣を駆除することによって、農林産物被害が軽減されている。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
駆除羽・頭数		数	482	573	550	600			600
電気柵整備距離		m	2,250	1,500	4,000	2,000			4,000
5. コスト									
事業費		計	千円	1,356	1,206	1,422	1,361		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	159	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般		千円	1,197	1,206	1,422	1,361			
正職員人工数		人工	0.4	0.3	0.3	0.3			
正職員人件費		千円	3,198	2,427	2,420	2,396			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	4,554	3,633	3,842	3,757			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<状況> 駆除の頭羽数は年によって増減はあるものの、農作物被害は減少している。 <原因> 有害鳥獣の生息は、これまでの駆除の取組みにより減少傾向にある。 <課題> これまでの継続した取組みにより被害は減少しているものの、1年でも捕獲の圧力が低下すると、鳥獣の繁殖力が上回り被害が増えてくる。その為、引き続き駆除従事者の確保、育成を図り捕獲圧を高める必要がある。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	あり						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望） 有害鳥獣による農作物の被害を防止するため、駆除及び電気柵設置補助を行う。									
備考・特記事項 or 進行管理欄									